

5年生の小学生 今年の抱負

※平成16年生まれ、4月から小学6年生になる子どもたちにインタビュー

陸上記録会で新記録を出したい



辻 那智さん
=葛巻小=

町の陸上記録会の走り高跳びと100メートル走で新記録を出せるよう練習を頑張ります。家では掃除などの手伝いもしっかり続け、学校では最上級生として下級生のお手本となれるよう頑張りたいです。

積極的に酪農を手伝う



田野 宇浩君
=小屋瀬小=

焼き肉屋を経営しながら酪農するのが夢。家には約50頭の牛がいるので、自分から積極的に餌やりや牛舎の掃除などの手伝いをしたいと思います。学校では縄跳びの二重跳びができるようになりたいです。

同じ校舎の中学生を手本に



山下 夏朋さん
=江刈小=

校舎改築のため11月から江刈中の校舎で学校生活を送っています。中学生は、優しくて積極的にあいさつをしてくれます。中学生を手本として、自分から積極的にあいさつし、学校を笑顔いっぱいになりたいです。

欠席ゼロで健康な1年を



山村 駿君
=五日市小=

昨年は無欠席だったので、今年も欠席しないよう健康な1年を過ごしたいです。4月には元気で活発な1年生6人が入学してきます。優しく、時には少し厳しく、いろいろなことを教えてくださいたいと思います。

※吉ヶ沢小学校は5年生の在籍なし

町の魅力と独創性を高め 「山村のモデル」実現を 目指します

年頭のごあいさつ

葛巻町長 鈴木重男



そういった中、現在の町にとって大きな課題は「人口減少」であります。この大きな課題を解決していくためには、個人・地域・町が協力し合い、将来に向けた夢を持ちながら、葛巻だからできる、葛巻にしかできない新たな取り組みに挑戦していくこと、併せて今まで以上に町の魅力と独創性を高めていく取り組みで、一人でも多くの移住と定住を促していくことが重要だと考えております。

また、人口減少を解決していくためには、誰もが安全で安心して暮らしていける社会基盤の充実も必要であり、現在、工事を進めている葛巻病院と江刈小学校の改築事業のほか、老人ホームの改築、町道茶屋場田子線の道路改修なども早期完成に向け進め、医療と教育をしっかり守って

新年明けましておめでとうございます。本年が皆さまにとりまして、明るく希望に満ちあふれる素晴らしい年でありますよう、心からお祈り申し上げます。また、日頃から町政全般に對しまして、ご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、昨年は、町が60周年という節目の年を迎え、「今をつないで未来へ」というテーマのもと、さまざまな記念行事・イベントを数多く実施し、皆さんとの一体感がより一層強まった一年であったと感じております。

特にも、総合運動公園多目的グラウンドの人工芝リニューアル記念のプロサッカーや、60周年を記念したプロバスケットボールの試合など、次代を担う子どもたちのために、第一線で活躍する選手の技を身近に感じることのできる事業が開催でき、元氣と勇氣、そして夢を与えることができたと思っております。これら記念事業の開催に当たり、多くの皆さまからご支援、ご協力を賜りましたことに改めて感謝申し上げます。

また、この60周年の節目の年に相応しく、一年を通して、それぞれの

いくものであります。

本年は、新たなまちづくりの指針となる「総合計画」、国が進める地方創生を推進するための「地方版総合戦略」がスタートする年であり、「人口減少」という大きな課題に果敢に挑戦していくこととなります。

町に住む誰もが「夢」と「誇り」を持ちながら安心して住み続けることができる「山村のモデルとなる町」の実現と、今よりも一歩先に進んだまちづくりを皆さんと着実に取り組んでまいりたいと考えておりますので、引き続きご支援とご協力を賜りたいと存じます。

最後に、皆さま方のご健康とご多幸、より一層のご活躍をご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

分野で数多くの皆さんの活躍がありました。中でも、町消防団においては、消防庁長官表彰の受賞、町ゲートボール協会所属チームの和歌山団体における第4位入賞、葛巻生のインターハイ陸上競技種目への出場、10年ぶりに北海道で開催された全日本ホルスタイン共進会へ町内酪農家から9頭の出場など、これまでの活動や成果が全国規模で高く評価されたところであります。

まさに、先人が築き上げてきた歴史や伝統・文化を次の時代へとしっかりとつなぎ、全ての町民が本當の意味で豊かさや幸せを実感し、確かな未来を築きあげる取り組みが実を結んだものであり、常日頃からの皆さんのご努力に深く敬意を表する次第であります。

一方、町づくりでは、全国から葛巻高校への入学生を受け入れる「山村留學制度」の創設と受け入れ、経済的負担を軽減する子育て支援、基幹産業である酪農と林業の振興のほか、さまざまな社会基盤の充実に向けた取り組みを進め、町が持つ地域資源と可能性を全国に発信してきたところでもあります。

謹賀新年